エコアクション21®
認証番号 0006072

環境経営レポート 2022

対象期間　2022年7月1日～2023年6月30日

2023年8月1日

株式会社 技研測量

目　　次

Ⅰ　計画の策定

1　組織の概要　・・・・・・・・・・・・・・・　1

2　実施体制　・・・・・・・・・・・・・・・・　2

3　環境経営方針　・・・・・・・・・・・・・・　3

4　環境経営目標　・・・・・・・・・・・・・・　4

5　環境経営計画・・・・・・・・・・・・・・・・　5

Ⅱ　計画の実施

6　環境経営計画に基づき実施した取組内容（実施体制を含む）・・・・　6

7　環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価・・・・　7～13
並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

8　環境慣例法規などの順守状況の確認及び評価の結果、　・・・・・　14
並びに違反、訴訟などの有無

Ⅲ　全体の評価と見直し

9　代表者による全体の評価と見直し・指示　・・・・・・　15

1. 組織の概要

事業所名	株式会社　技研測量				
代表者氏名	代表取締役　宮島直久				
設立	１９７０（昭和４５）年　7月１３日				
所在地	本社	〒433-8112 浜松市北区初生町 978-12			
		ＴＥＬ　(053) 437-0333　ＦＡＸ　(053) 437-0787			
		E-mail　:　giken@key.ocn.ne.jp			
		URL　:　https://www.giken-tc.com			
環境管理責任者	大塚将幹	E-mail　:　g-otuka@juno.ocn.ne.jp			
事業内容	測量	基準点測量・ＧＰＳ・水準測量・平板測量・路線測量・河川測量・深浅測量・用地測量・各種管理台帳			
	建設コンサルタント	道路設計・上下水道設計・河川設計・水路設計・農業土木設計・森林土木設計・農地復旧			
	補償コンサルタント	土地調査・物件調査・営業補償調査・機械工作物調査・事業損失調査			
登録業種	測量業　第（１３）-３５９５号 建設コンサルタント業　建０２－９６３１号 （道路部門、土質及び基礎部分、鋼構造及びコンクリート部門） 補償コンサルタント業　補３０－３３６号				
従業員	計　１８名　（技術・業務　17名、　事務　1名）				
事業所の規模		事業年度　7月 ～ 翌年　6月			
活動規模		単位	２０２０年	２０２１年	２０２２年
売上高（百万）		円	163	197	170
従業員数		人	15	18	18
床面積	本社	㎡	292	292	292

【 対象範囲 】

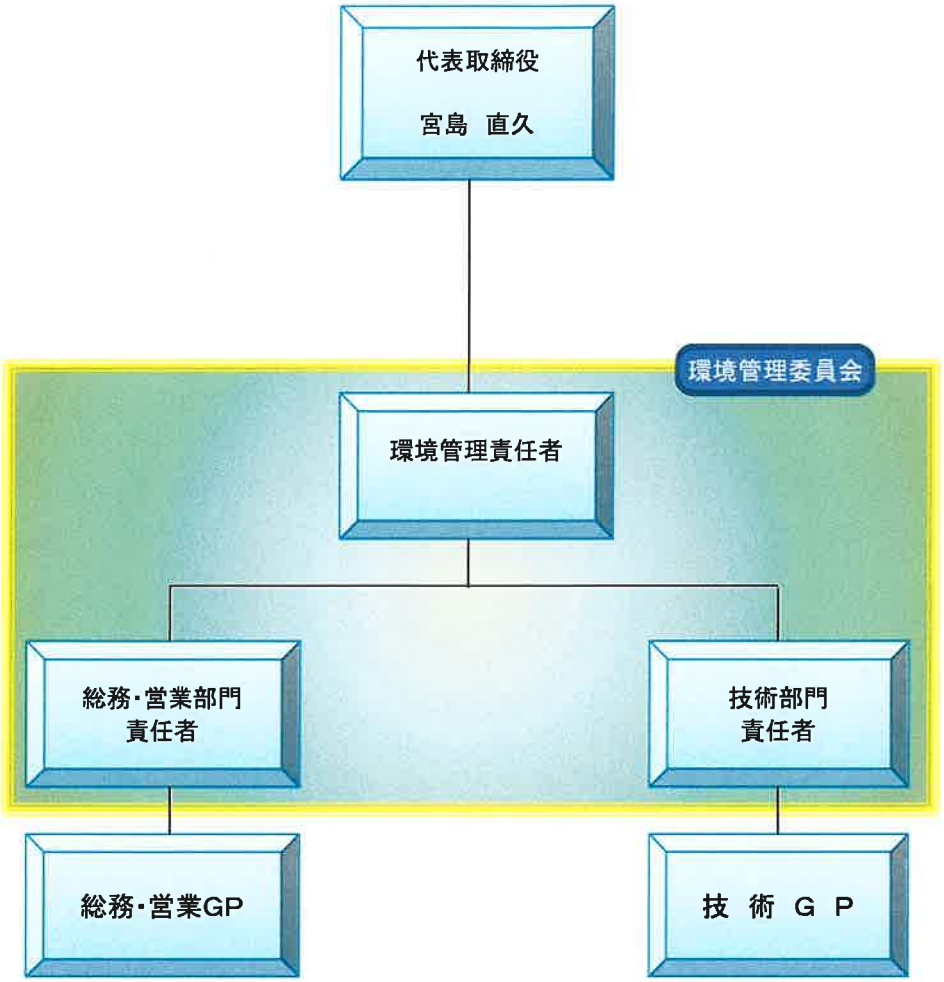
認証・登録範囲は全組織・全活動・全従業員を対象とする。

【 環境活動レポート対象期間 】

2022年 7月　～　2023年 6月

2. 実施体制

組　織　図



	役　割　・　責　任　・　権　限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な人・設備・資源・費用等を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境目標及び環境活動計画記載の環境活動計画書の承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、実施と管理 ・環境関連法規制等一覧表の作成 ・環境目標の設定 ・緊急事態の特定及び緊急事態対応訓練計画と実施 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境活動の取組状況の確認 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
担当部門責任者	・担当業務範囲における環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況の確認と報告 ・担当業務範囲における運用手順書の作成及び手順に基づく運用管理
全従業員	・自部門の問題点の発見・是正・予防処置 ・環境方針の理解と環境への取組の重要性の自覚 ・自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

株式会社 技研測量 環境方針

基本理念

株式会社技研測量は、社会資本整備の一翼を担う企業として地球環境の保全が最重要課題と認識し、地球環境負荷の低減に配慮した事業活動に取り組み、地球環境の保全と向上に継続的に努めます。

行動指針

①事業活動におけるＣＯ2排出量を減らすためエネルギー(電気、ガソリン軽油、ＬＰＧ）消費量そして総排水量の削減に努力します。

②廃棄物は適正に処理を行い、リサイクルと削減に努めます。

③当社に関わる環境関連法令および協定・条例を遵守します。

④環境保全活動に関する教育・啓発を全社員に対し定期的に実施し、環境方針の理解と周知徹底に努めます。

⑤当社事業で購入する商品及びサービスについては、グリーン購入を可能な限り推進します。

⑥当事業活動における環境への取り組みとして、環境に有益な取り組みを常に思考・試行・志向して参ります。

制定日　2009年12月4日
改定日　2022年6月30日

株式会社　技研測量

代表取締役　宮島 直久

（３年間）

4. 環境経営目標

事業年度　毎年7月～翌年6月の１年間

環境目標項目		単位	基準年数値 2021年度実績をベースとする	2022年（実績）	2023年（目標）	2024年（目標）	2025年（目標）
1	二酸化炭素排出量の削減	kg－CO2	19,412	20,327	19,412	19,218	19,024
				（105%）	（100%）	（99%）	（98%）
2	電気使用量の削減	kWh	11,732	12,793	11,732	11,615	11,497
				（109%）	（100%）	（99%）	（98%）
3	ガソリン及び軽油使用量の削減	ℓ	6,389	6,608	6,389	6,325	6,261
				（103%）	（100%）	（99%）	（98%）
4	総排水量の削減	m^3	97.0	107.0	97.0	91.1	91.1
				（110%）	（100%）	（99%）	（98%）
5	社有車の燃費向上	km/ℓ	16.0	15.0	16.0	16.0	16.0
				（93%）	（100%）	（100%）	（100%）
6	廃棄物排出量の削減 （再資源化率）	t （%）	0.66 （40%）	0.63 （40%以上）	0.63 （40%以上）	0.63 （40%以上）	0.63 （40%以上）
7	グリーン購入	購入品目 総品目	（24/35） 総品目の6割以上	（25/39） 総品目の6割以上	総品目の7割以上	総品目の7割以上	総品目の7割以上
8	【自ら提供するｻｰﾋﾞｽ】 環境に配慮した計画・設計の適切な提案	提案件数 受注件数	設計受注件数の2割以上	（11/37） 設計受注件数の3割以上	設計受注件数の3割以上	設計受注件数の3割以上	設計受注件数の3割以上
9	地域環境保全活動の推進	回	5	7	7	7	7

※ 購入電力の排出係数は中部電力ミライズ（株）2021年度の調整排出係数“0.388を使用している(kg-Co2/kwh).
※ グリーン購入については、文具品のみを記載
※ 但し、資材の境界杭は、グリーン商品を購入している。

5. 環境経営計画

適用事項に○を記入

目的	区分	項目	担当	活動項目	2022年度実績	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素の削減	全般		総務・営業管理GP長	①下記項目の実施状況のチェック	○	○	○	○
				②ノー残業DAYの実施	○	○	○	○
				③計画見直しと新しいアイデアの募集	○	○	○	○
	購入電力	照明	担当部門責任者	①消灯の徹底	○	○	○	○
				②高効率照明機器の導入	○	○	—	—
		空調		①温度設定夏28℃　冬20℃	○	○	○	○
				②使用していないエリアの空調停止	○	○	○	○
				③遮光対策（窓ガラスの遮熱ｼｰﾄ貼付）	○	○	○	○
				④新規空調設備への代替え、及び導入（1階）	×	○	○	○
		その他		①夏場の電気ポット使用の自粛	○	—	—	—
				②使用頻度の少ない電化製品のプラグをコンセントから抜く	○	○	○	○
	燃料	乗用車	担当部門責任者	①エコドライブ	○	○	○	○
				②余分な荷物は、車に乗せて置かない	○	○	○	○
				③アイドリングストップ	○	○	○	○
				④夏冬場以外での運転時のエアコン使用自粛	○	○	○	○
				⑤燃費測定による意識向上と燃料削減	○	○	○	○
				⑥省エネ車の導入（2022年以降電気自動車の購入予定）	○	○	—	—
廃棄物排出量の削減	事業所		担当部門責任者	①社内ネットワークの強化(社内ペーパーレス化)	○	○	○	○
				②備品の管理強化による不用備品の削減	○	○	○	○
				③コピー用紙の両面使用	○	○	○	○
				④封筒の再利用	○	○	○	○
				⑤廃棄物の分別とリサイクル	○	○	○	○
節水	上水		担当部門責任者	①節水(洗濯、洗車等)、トイレの浮き	○	○	○	○
				②節水こまの取り付け	×	○	○	○
				③その他節水製品の導入	○	○	○	○
資材等購入	事務用品		担当部門責任者	①グリーン購入対象品優先購入	○	○	○	○
				②再生材料の優先購入	○	○	○	○
				③環境ラベル対応品の購入	○	○	○	○
				④何回も使える物の購入	○	○	○	○
自ら提供するサービス	環境配慮設計		技術GP長	①環境に配慮した計画・設計の適切な提案	○	○	○	○
				②ふじのくに色彩・デザイン指針(静岡県)を参考とした設計	○	○	○	○
				③環境に配慮した設計内容の社内共有	○	○	○	○
	地域貢献		担当部門責任者	①スーパー林道カーブミラー等清掃(年2回)	○	○	○	○
				②近隣道路清掃(年2回)	○	○	○	○
				③地元交通安全立哨活動(年4回)	○	○	○	○
				④地元小学校での地図教室開催の協力(要請時)	○	○	○	○
	教育訓練		担当部門責任者	①社員への安全教育訓練の実施	○	○	○	○
				②緊急時の避難訓練・災害協力への取り組み	○	○	○	○

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容（実施体制を含む）

適用事項に〇

目的	区分	項目	活動責任者	活動項目	実施時期	2022年度評価
二酸化炭素の削減	全般		総務・営業管理GP長	①下記項目の実施状況のチェック	通年	〇
				②ノー残業DAYの実施	※繁忙期を除く	〇
				③計画見直しと新しいアイデアの募集	通年	〇
	購入電力	照明	担当部門責任者	①消灯の徹底	通年	〇
				②高効率照明機器の導入		〇
		空調		①温度設定夏28℃　冬20℃		〇
				②使用していないエリアの空調停止		〇
				③遮光対策（窓ガラスの遮熱ｼｰﾄ貼付）		〇
				④新規空調設備への代替え、及び導入（1階）		
		その他		①夏場の電気ポット使用の自粛		〇
				②使用頻度の少ない電化製品のプラグをコンセントから抜く		〇
	燃料	乗用車	担当部門責任者	①エコドライブ	通年	〇
				②余分な荷物は、車に乗せて置かない		〇
				③アイドリングストップ		〇
				④夏冬場以外での運転時のエアコン使用自粛		〇
				⑤燃費測定による意識向上と燃料削減		〇
				⑥省エネ車の導入（2022年ハイブリッド車購入ﾀｳﾝｴｰｽ）		〇
廃棄物排出量の削減	事業所		担当部門責任者	①社内ネットワークの強化(社内ペーパーレス化)	通年	〇
				②備品の管理強化による不用備品の削減		〇
				③コピー用紙の両面使用		〇
				④封筒の再利用		〇
				⑤廃棄物の分別とリサイクル		〇
節水	上水		担当部門責任者	①節水(洗濯、洗車等)、トイレの浮き	通年	〇
				②節水こまの取り付け		×
				③その他節水製品の導入		〇
資材等購入	事務用品		担当部門責任者	①グリーン購入対象品優先購入	通年	〇
				②再生材料の優先購入		〇
				③環境ラベル対応品の購入		〇
				④何回も使える物の購入		〇
自ら提供するサービス	環境配慮設計		技術GP長	①環境に配慮した計画・設計の適切な提案	通年	〇
				②ふじのくに色彩・デザイン指針(静岡県)を参考とした設計		〇
				③環境に配慮した設計内容の社内共有		〇
	地域貢献		担当部門責任者	①スーパー林道カーブミラー等清掃(年2回)	通年	〇
				②近隣道路清掃(年2回)		〇
				③地元交通安全立哨活動(年4回)		〇
				④地元小学校での地図教室開催の協力(要請時)		〇
	教育訓練		担当部門責任者	①社員への安全教育訓練の実施	通年	〇
				②緊急時の避難訓練・災害協力への取り組み		〇

対象期間（２０２２年７月１日　～　２０２３年６月３０日）

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1）環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

2022年7月～2023年6月

環境目標項目		単位	基準年数値 2021年度実績をベースとする	2022年度目標	2022年度結果	達成率	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	kg－CO2	19,412	19,218 (99%)	20,327	94.5%	△
2	電気使用量の削減	kWh	11,732	11,615 (99%)	12,793	90.8%	△
3	ガソリン及び軽油使用量の削減	ℓ	6,389	6,325 (99%)	6,608	95.7%	△
4	総排水量の削減	m^3	97.0	96 (99%)	107.0	89.7%	△
5	社有車の燃費向上	km/ℓ	16.0	16.0 (0%)	15.0	93%	△
6	廃棄物排出量の削減（再資源化率）	t %	0.66	0.65 (99%)	0.63	103.2%	◎
7	グリーン購入	購入品目 総品目	24 35	総品目の6割以上	25 39	128.2%	◎
8	【自ら提供するｻｰﾋﾞｽ】環境に配慮した計画・設計の適切な提案	提案件数 受注件数	13 42	設計受注件数の3割以上	11 37	148.6%	◎
9	地域環境保全活動の推進	回	5	5	7	140.0%	◎

※ 評価基準　◎・・・十分達成できた　○・・・目標達成　△・・・目標未達

※ 基準年数値の二酸化炭素排出量における購入電力の排出係数は、中部電力ミライズ（株）の2021年度の調整後排出係数の“0.388kg-CO2/kwh”を使用している。

【資料-1】

原単位(売上百万円当たり)環境負荷(2018年基準)

2023年7月31日

2018年基準　5年間推移

(株)技研測量

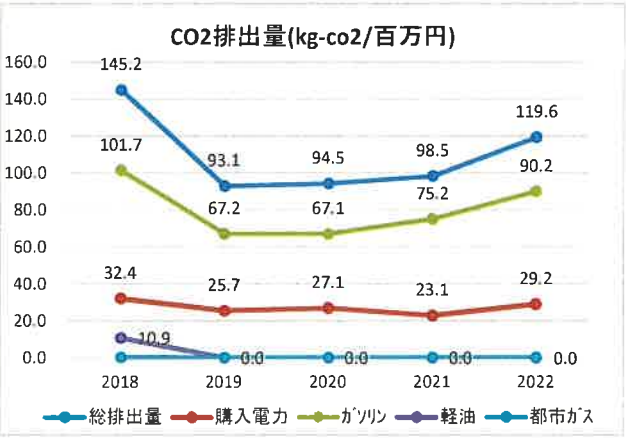
電力変換係数0.388kgco2/kw(2021年)　　数値入力

1)事業規模

	H29 基準年 2018	H30 2019	R1 2020	R2 2021	R3 2022
売上高(百万円)	130	163	163	197	170
従業員(人)	15	15	15	18	19

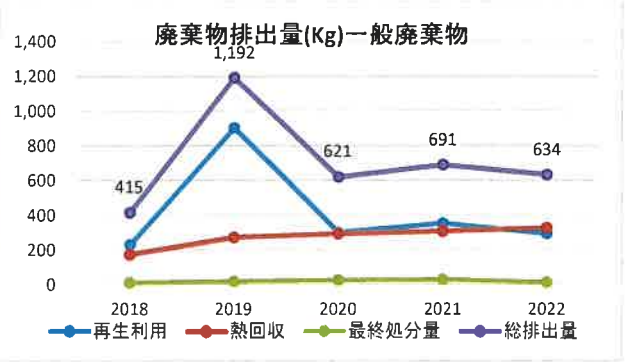
2)CO2排出量(Kg-CO2/百万円)

	2018	2019	2020	2021	2022
総排出量	145.2	93.1	94.5	98.5	119.6
購入電力	32.4	25.7	27.1	23.1	29.2
ｶﾞｿﾘﾝ	101.7	67.2	67.1	75.2	90.2
軽油	10.9	0.0	0.0	0.0	0.0
都市ｶﾞｽ	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
購入電力(Kg-co2)	4,207	4,184	4,423	4,552	4,964
ｶﾞｿﾘﾝ(Kg-co2)	13,220	10,954	10,945	14,822	15,330
軽油(Kg-co2)	1,413	0	0	0	0
都市ｶﾞｽ(Kg-co2)	35	32	37	39	35
総排出量(Kg-co2)	18,876	15,171	15,405	19,413	20,328
購入電力排出係数	0.388	0.388	0.388	0.388	0.388
年度(kg-co2/KWh)	2021年度	2021年度	2021年度	2021年度	2021年度



3)廃棄物排出量(Kg)　一般廃棄物

	2018	2019	2020	2021	2022
再生利用	228	901	301	352	293
熱回収	175	273	295	309	327
最終処分量	12	18	25	30	14
総排出量	415	1,192	621	691	634

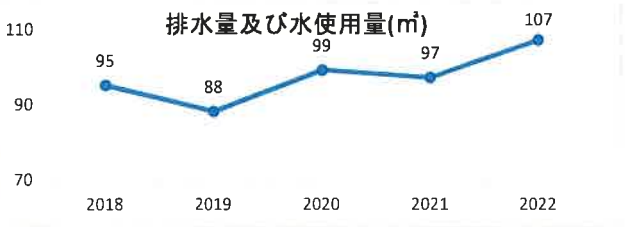


4)再資源化率(%)

	2018	2019	2020	2021	2022
一般廃棄物	55.1	75.6	48.4	51.0	46.2

5)排水量及び水使用量(㎥)

	2018	2019	2020	2021	2022
水道水	95	88	99	97	107



6)社有車の燃費向上

	2018	2019	2020	2021	2022
燃費(km/ℓ)	14.1	15.6	16.2	16.1	15.0

7)2018年を100としたCO2総排出量の推移

	2018	2019	2020	2021	2021
CO2総排出量	100	80	82	103	108

8)2018年を100とした購入電力の推移

	2018	2019	2020	2021	2022
購入電力	100	99	105	108	118

9)2018年を100としたｶﾞｿﾘﾝ・軽油の推移

	2018	2019	2020	2021	2022
ｶﾞｿﾘﾝ・軽油	100	83	83	112	116
ｶﾞｿﾘﾝ(ℓ)	5698	4722	4718	6389	6608
軽油(ℓ)	548	0	0	0	0
計	6246	4722	4718	6389	6608

【資料-2】

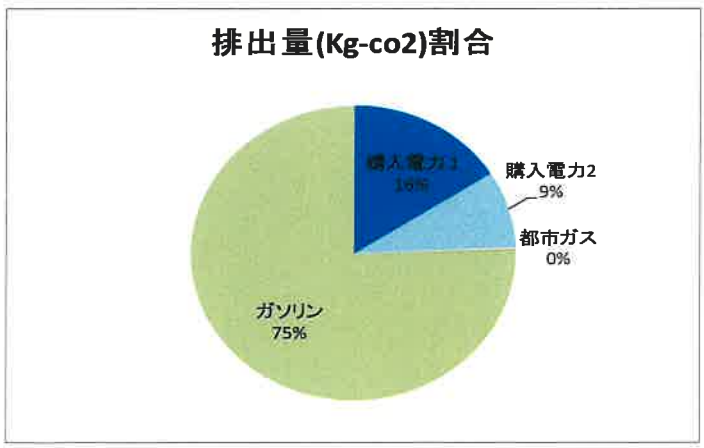
二酸化炭素排出量割合

2023年7月31日

(株)技研測量

2022年度(2022年7月～2023年6月)

項目	排出量(Kg-co2)	割合(%)
購入電力1	3,237	15.9
購入電力2	1,727	8.5
都市ガス	35	0.2
ガソリン	15,330	75.4
計	20,328	100.0



2)　環境経営計画に対する評価と次年度取り組み

目的	区分	項目	活動責任者	活動項目	評価と次年度取組内容
二酸化炭素の削減	全般		総務・営業管理GP長	①下記項目の実施状況のチェック ②ノー残業DAYの実施 ③計画見直しと新しいアイデアの募集	引き続き年4回のエコミーティング活動の実施 （環境経営計画のチェックリストをもとに活動の再認識と今後の課題等）
	購入電力	照明	担当部門責任者	①消灯の徹底 ②高効率照明機器の導入	未交換箇所をLED照明に取替え（社内95%LED化）や、人感センサーライトの設置など、今後の節電につながる器具を導入した。 遮熱シート（プチプチ）貼り換え、ウォーターサーバーの導入などできるものから取り組んだ。 災害応請時、短期間での業務増により電気使用量の削減には至らなかったが、次年度も同様に継続して節電に努める。
		空調		①温度設定夏28℃　冬20℃ ②使用していないエリアの空調停止 ③遮光対策（窓ガラスの遮熱ｼｰﾄ貼付） ④新規空調設備への代替え、及び導入	
		その他		⑤使用頻度の少ない電化製品のプラグをコンセントから抜く	
	燃料	乗用車	担当部門責任者	①エコドライブ ②余分な荷物は、車に乗せて置かない ③アイドリングストップ ④夏冬場以外での運転時のエアコン使用自粛 ⑤燃費測定による意識向上と燃料削減 ⑥省エネ車の導入	社内掲示板（燃費グラフ）での意識づけ、帰社後の車内の片付けの徹底と適時タイヤの空気圧の補充等、普段のエコドライブに積極的に取り組めた。（令和４年度模範事業所認定） ハイブリッド車２台購入（第53期）の為、目標値に対する評価は次年度の結果を踏まえたうえで、数値の見直しなど検討していく。
廃棄物排出量の削減	事業所		担当部門責任者	①社内ネットワークの強化(社内ペーパーレス化) ②備品の管理強化による不用備品の削減 ③コピー用紙の両面使用 ④封筒の再利用 ⑤廃棄物の分別とリサイクル	日報をネットワーク化 棚卸時に処分、またこまめに在庫確認を行い適正在庫数を把握し、余剰備品を削減していく。 また今年度より、廃棄物は業者に回収を委託。
節水	上水		担当部門責任者	①節水(洗濯、洗車等)、トイレの浮き ②節水こまの取り付け ③その他節水製品の導入	洗車時には高圧洗浄機使用による時間の短縮と節水に取り組む。 男子トイレ小便器をセンサー式に交換、節水に取り組む。
資材等購入	事務用品		担当部門責任者	①グリーン購入対象品優先購入 ②再生材料の優先購入 ③環境ラベル対応品の購入 ④何回も使える物の購入	購入の際は常に意識するようになり、グリーン商品の他エコマーク商品、再生品などの使用率が高まった（6割以上） 引き続き6割以上を目標に、安易に買替えではなく、修理する選択肢も考えたい。
自ら提供するサービス	環境配慮設計		技術GP長	①環境に配慮した計画・設計の適切な提案 ②ふじのくに色彩・デザイン指針(静岡県)を参考とした設計 ③環境に配慮した設計内容の社内共有	森林・河川業務で積極的に実施。 （計画内容に木材を利用したものや、緑化に特化した工法を採用または提案） また社内ﾐｰﾃｨﾝｸﾞで設計内容を共有。 達成率は148.6%と目標を上回ることができた。
	地域貢献		担当部門責任者	①スーパー林道カーブミラー等清掃(年2回) ②近隣道路清掃(年2回) ③地元交通安全立哨活動(年4回) ④地元小学校での地図教室開催の協力(要請時)	今年は全て実施できた。 道路清掃活動においては、静岡県より感謝状をいただいた。 次年度も引き続き清掃活動等を通して、地域、環境保全に貢献する。
	教育訓練		担当部門責任者	①社員への安全教育訓練の実施 ②緊急時の避難訓練・災害協力への取り組み	2022年12月社員講師による、緊急時タイヤ交換の講習実施。災害協力継続中。 非常食及び救急箱の点検・補充等実施。

対象期間(2022年7月1日～2023年6月30日)

※4半期ごとの総評

3)　環境への取組活動と緊急時の想定と訓練

～昨年度より継続して活動中の取り組み～

<1>　浜松市省エネ認定事業者

<2>　浜松市主催COOL CHOICE(CO2 排出削減推進のための国民運動）（参加中）

LED照明(社内95%LED化)

窓断熱(プチプチ)劣化の為、再取替

<3>　浜松市エコドライブ模範事業所（活動中）

令和４年度エコドライブ模範事業所に認定されました。

取組結果　【車両台数７台】
CO2削減量・・・1,311削減　→　杉の木のCO2吸収量に換算すると101本分
給油量・・・・・・565リットル削減　→　金額に換算すると84,750円削減

<4>　地球温暖化防止活動推進員（活動中）

<5>　静岡県 未来の森サポーター　ボランティア活動

天竜スーパー林道沿線における美化活動を平成26年度より継続実施しています。

① 転石等及び枝等の除去
② カーブミラーの清掃
③ 林道沿線（道路内）のごみ拾い等

2022年9月

2023年4月

<6>　浜松市里親制度　道路清掃ボランティア活動

地元都田テクノロード歩道にて　平成26年より**道路清掃活動**を行っています。
従業員一同による落ち葉や、泥、ゴミ集め等の清掃活動
（計3回実施）

第1回目 2022年6月

感謝状をいただきました！（令和5年7月27日）

第3回目 2023年1月

第2回目 2022年11月

<7>　交通安全立哨活動

ショッピングセンター前交差点での立哨活動の様子(2022.7月/12月/2023/5月)

<8>　その他ボランティア活動

2022年10月　静岡県測量設計業協会主催の中田島清掃作業

<9>　社内エコミーティング活動及び緊急時の想定・教育訓練

社内エコミーティング活動

環境経営活動報告（年４回実施）・・・・・環境経営計画チェック表に基づき、進捗度および今後の課題と取組についての意見交換を行っています。

緊急時の想定及び訓練
緊急連絡網の再確認、救急箱・非常持ち出し袋の定期点検等を実施（2023.3月）

教育訓練
タイヤ交換とパンク時の応急処置の講習（2022.12月）

<10>　現場事例集（環境保全に配慮した提案等の一例など）

ー災害　神宮寺川(浜松市北区引佐町地先)ー

施工前　　2022年7月　撮影　　施工後　　2023年4月　撮影

※周辺との環境に配慮（明度6以下、テクスチャー11以上）

ー交通安全施設等整備 有玉南108号測量設計(浜松市東区有玉南町）ー

施工前　　2020年7月　撮影　　施工後　　2022年6月　撮影

ー治山調査（舘山）測量設計　（浜松市西区舘山寺町)ー

施工前　　2020年12月　ドローン撮影　　施工後　　2022年4月　ドローン撮影

※観光地であるため景観に配慮し、枠内緑化を提案

8. 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況

確認日： 2023年6月30日

環境関連法規等遵守状況確認及び評価結果
関係当局よりの違反等の指摘や訴訟も過去3年間ありません。

(株)技研測量 遵守確認者： 大塚 将幹

Ⅰ 環境関連

項番	法規・条例・規制	条 項	適用内容または規制基準	実施内容	確認結果
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務	事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正処理	○
		第6条の二	一般廃棄物、市町村の処理	一般廃棄物を適正に分別、保管等市町村が行う、収集、運搬、処分に協力、	○
		第12条	事業者の処理、産業廃棄部の処理または委託基準の遵守	産業廃棄物収集運搬業者、産業廃棄部処分業者に委託	○
		第12条の3	ﾏﾆｭﾌｪｽﾄの交付義務、記載義務	ﾏﾆｭﾌｪｽﾄの適正な作成(様式、記載内容等)	○
			ﾏﾆｭﾌｪｽﾄの保管・管理	管理表写し送付受けた後5年間保管(B2・D・E票)	○
			ﾏﾆｭﾌｪｽﾄの期間内の返却の確認	管理表発行から90日以内又は最終処分は180日以内	○
		第12条の4	虚偽管理表交付の禁止	虚偽管理表は発行しない	○
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令	第6条	産業廃棄物の収集、運搬、処分等の基準	水銀使用製品保管場の仕切り、表示、委託契約「水銀含有」	○
3	浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第4条	事業者の責務	産業廃棄物の適正な処理、従業員に対し、廃棄物の適正な処理に関する教育を行う	○
4	自動車リサイクル法 ⇒注1.	第5条	自動車の所有者の責務	なるべく長期間使用、使用済自動車の抑制と再資源化	○
		第73条	再資源化預託金	再資源化預託金を資金管理法人に預託	○
5	家電リサイクル法 ⇒ 注2.	第6条	事業者及び消費者の責務	特定家庭用機器のなるべく長期間使用、廃棄物の排出抑制、収集・運搬再商品化引き渡しと料金支払い（ｴﾆｯﾄ型ｴｱｺﾝ、ﾃﾚﾋﾞ、冷蔵庫、洗濯機）	○
6	容器包装リサイクル法 ⇒注3.	第4条	事業者及び消費者の責務	容器包装の過剰な使用の抑制、分別収集、再商品化	○
7	消防法	第8条	防火管理	通報・避難訓練、防火設備(火災報知器、消火栓)維持管理	○
		第8条の二の四	避難上必要な施設	防火設備、避難通路にに支障なものを放置しない	○
8	プラスチック資源循環促進法	第4条	事業者及び消費者の責務	プラスチック使用製品廃棄物の排出を抑制し、再資源化製品の使用に努める。	○
9	フロン排出抑制法	第16条	管理者の責任	第一種特定製品の簡易点検（1回/3カ月以上）及び記録簿保存 7.5kw以上は有資格者による定期点検	○

注1. 自動車ﾘｻｲｸﾙ法 使用済自動車の再資源化等に関する法律

注2. 家電ﾘｻｲｸﾙ法 特定家庭用機器再商品化法

注3. 容器包装ﾘｻｲｸﾙ法 容器包装に関わる分別収集及び再商品化の促進に関する法律

Ⅱ 測量関係

測量法規等遵守状況確認及び評価結果
関係当局よりの違反等の指摘や訴訟も過去3年間ありません。

項番	法規・条例・規制	条 項	適用内容または規制基準	実施内容	確認結果
1	測量法	第48条	測量士及び測量士補	基本測量、公共測量に従事する測量する技術者は測量士及び測量士補	○
		第49条	測量士及び測量士補の登録	測量士及び測量士補の登録の申請	○

9.　全体の評価と見直し・指示

代表者による全体の評価と見直し

ここ数年業績も順調に上向き傾向にあり、それに伴い
社員の数も増えており経営の安定化と共に、新規業務
及び事業にも着手できつつある一方、エコアクション
に関しては受注量の増加に伴い、増車、増員及び残業
時間増などにより目標達成が難しくなってしまった。
今後もこの傾向は続くと思われる為、目標達成率は
現状維持レベルが妥当な数字ではないかと思われる。
来年度の目標として特に燃費の向上、設備の更新及び
地域貢献、教育訓練などに力を入れていきたいと思います。

2023年7月31日

株式会社　技研測量
代表取締役　宮島直久